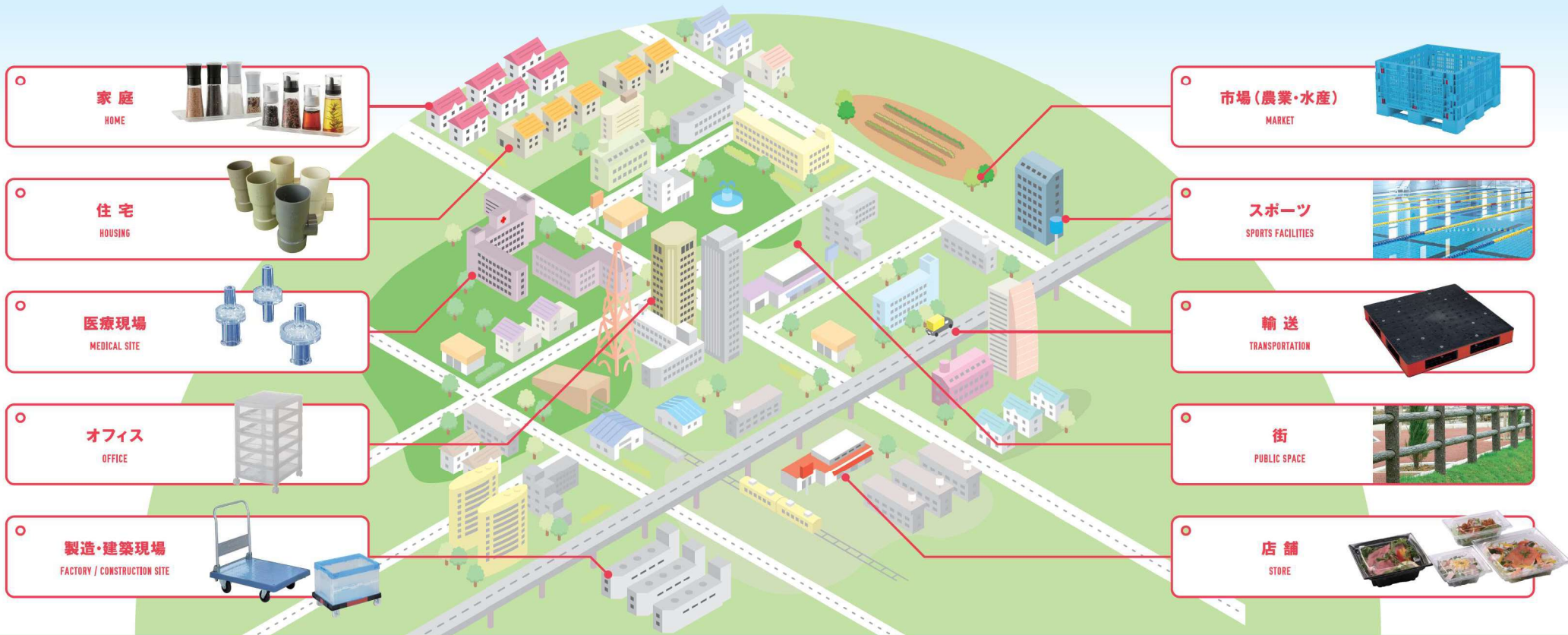


ISU リスのプラスチックグループは、あらゆる産業分野で活躍するプラスチックの総合メーカーです。



プラスチック製品の分野ごとに会社名を変えて、グループを構成しています。それぞれの分野に特化すると同時にグループを支え合って存在し、知恵と技術を結集させてグループの総合力を高めています。

ISU 岐阜プラスチック工業株式会社



取扱製品 物流産業資材 / TECCELL / 工業部品 / 医療関連品

ISU リスパック株式会社



取扱製品 食品包装容器 / 飲料用カップ / デザート用カップ

ISU リス株式会社

ISU リスジョイントプロダクト株式会社



取扱製品 家庭用品 / リビングインテリア用品 / 業務用雑貨 / 共同開発品

ISU リス興業株式会社



取扱製品 建築土木資材 / スポーツ資材 / 屋上緑化システム

ISU 東栄機械株式会社



取扱製品 塩ビ管継手

人々に豊かな生活をとどける。



当社は1953年に創業して以来、プラスチック総合メーカーとして幅広い分野で製品開発を行い、バイオエアの役割を果たしてきました。人々に愛される動物である「リス」を企業ブランドとし、顧客第一主義に徹し自社開発製品を自社ルートで販売するという姿勢を貫いています。そして、長年の歴史の中で培った技術を最大限活用し、「楽しさ」「快適さ」「心地よさ」といった人々の生活をより豊かにする製品作りを邁進しております。これからも当社はグループの総合力を結集し、「リス」のブランドメーカーという誇りを持ち、プラスチック製品を通じて人々により一層豊かで楽しい生活をご提供できますよう「進化へのあくなき挑戦」を続けてまいります。



グループの「和」が生まだす、グループの「力」。

技術力	=	長年培った新素材・新商品の自社開発力
チームワーク	=	グループ各社・部門連携による製品強化
ネットワーク	=	グループでの情報共有による技術の横展開



グループそれぞれの製品分野で培われた力が、グループの相乗効果を発揮します。

「自走する社員」の教育。

「～自走する社員の教育～自ら考え、自ら行動する、そして前向きに新たな事に挑戦する社員」の教育スローガンのもと、新入社員からモチベーション研修、マネジメントリーダー研修までキャリアに合わせた研修プログラムの他、各職種・事業別の専門知識を学ぶ研修プログラムが充実。どんな職種や立場になっても、どこまでも成長できる環境があります。



Ecoの輪を、技術と製品で広げる

一 環境問題に対する取り組み 一

当社は「Ecoの輪を、技術と製品で広げる」のスローガンのもと、持続可能(SUSTAINABLE)な社会の構築に向けて、石化資源節約、CO₂排出抑制、省エネ化、廃棄量抑制に繋がる取り組みとして、先進技術や次世代型素材の開発・普及に全力で取り組んでいます。



バイオマスプラスチックのリーディングカンパニー!



ECO PRODUCT_01

バイオマスプラスチック

当社では植物由来のバイオマスプラスチックを使った食品包装容器の研究を1990年代から始め、日本で初めて「ポリオレフィン等衛生協議会」のポジティブリストに掲載され、愛知万博では公式容器として採用されました。その後バイオマス食品包装容器のトップ企業へと成長し、現在は様々な分野でバイオマスプラスチック製品を展開しています。2019年に政府が

策定した「プラスチック資源循環戦略」には「2030年までにバイオマスプラスチック約200万トン導入」という数値目標が設定されており、バイオマスプラスチックのリーディングカンパニーである当社の役割は今後ますます大きくなります。持続可能な社会の実現に貢献するべく、当社はバイオマスプラスチック製品の開発と普及に最大限注力していきます。



リサイクル材料年間4万トン以上使用!



ECO PRODUCT_02

リサイクル

当社では、使用済みのプラスチック製品などを回収し、年間約4.6万トンのリサイクル材料を使用、再商品化(マテリアルリサイクル)しており、これは21.1万トンのCO₂削減にも繋がっています。品質が一定ではないリサイクル材料を安定的に再商品化し続けることは困難を伴いますが、これを可能にしているのは、当社の独自のノウハウや分析技術・配合技術であり、こ

れら进行评估され2003年にはリサイクル推進協議会「会長賞」を受賞しています。日本のプラスチックリサイクル率は世界トップクラスであると言われていますが、その中でも当社のリサイクル技術はトップレベルだと自負しています。循環型社会の実現に貢献するべく、今後リサイクルの取り組みを更に推進していきます。



ものづくり日本大賞「経済産業大臣賞」受賞!



ECO PRODUCT_03

新素材開発 "TECCELL (テクセル)"

当社は熱可塑性樹脂によるハニカムコア材(ハチの巣構造)の連続成形技術を世界で初めて確立し、この新素材に「Technology(技術)」と「Cell(小部屋)」の造語として「TECCELL(テクセル)」というブランド名を付けました。TECCELLの“高強度・超軽量”の特性を活かし、あらゆる産業分野の省エネ化・CO₂削減に貢献するだけでなく、吸音特性を活かし、防音

材として騒音に悩む職場などでの労働環境改善にも貢献します。発売以来、自動車・航空機・建材・住設・スポーツ・物流資材など様々な分野で採用され、2015年には第6回ものづくり日本大賞「経済産業大臣賞」を受賞。今後もTECCELLの更なる機能性の向上と普及を通じて、あらゆる産業分野の環境負荷低減・労働環境改善に貢献して参ります。

